

中国秋季リーグ入替戦結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

昨日、広島大学北体育館において、秋季リーグ入替戦が開催されました。

広島大学女子の結果は、以下のとおりです。

vs 福山平成大学 (1部5位)

●0-3 (18-25、14-25、17-25)

(広大バレー部 Twitter)

<https://twitter.com/hirodaiVOLLEY>

有川のサーブミスで始まった第1セットは、両チームサーブミスの応酬となり、特に広大は1本目でほぼ全員が失敗するほど、ホームアドバンテージを全く生かせませんでした。サーブは自チームの状況、相手チームの状況、試合展開に応じて柔軟に変化を付けるべきものですが、そもそも練習から同じ場所、同じ打ち方でしか行っていない選手がほとんどで、その割には自分でも打って見ないとどんなサーブになるか分からないのが現状だと思います。サーブは9m×3mの巨大なサービスゾーンから9m×9mのコートに打つので、選択肢はいくらでもあるはずですが、その可能性を自ら潰していると感じました。

試合間隔の点でもアドバンテージがあるはずでしたが、序盤の連続ミスで地に足がつかなくなった有川をはじめ、広大は動きが重い選手が多く、一方で、相手は両レフトの1年生が生き生きとスパイクを打ち込んでいた姿が対物的でした。また、2本目のアンダートスがトスになっておらず、何回か訪れた流れもつなぎの部分で切れてしまう場面が目立ちました。1本目もそうですが、大事なのはAキャッチの場所にボールを上げるのではなく、得点につながるボールを上げることです。3回のボールタッチを点と点で結ぶのではなく、ラリーが1本の線になるまで、練習を重ねて欲しいと思います。

この入替戦をもって、4年生の大塚、田村は引退となりました。伝説の2019年シーズンを戦った最後の世代として、また、1部での勝ち方を知る最後の世代として、コロナ禍や2部

降格の激動にも耐え抜きました。今年は3年ぶりの通常開催となりましたが、3年前と同じように1年間を過ごせたのは二人のおかげであり、応援されるチームとして後輩たちにバトンをつないでくれました。入替戦では、ボールアウトの場面でも二人には多くの笑顔が見られ、1年生の東も楽しそうだったことが、何よりの財産だと思います。

これで約1か月間の秋季リーグ戦も無事に閉幕しました。

会場等にてご支援ご声援いただいた同窓生の皆様、本当にありがとうございました。

今後は男女ともに11月19日（土）の広島県インカレへの出場を予定しています。

引き続きよろしく願いいたします。